

二〇二一年度 高校推薦入試 作文問題

次の文章は「オンライン文化祭、前向きに挑戦」というタイトルの新聞記事です。これを読んで後の問いに答えなさい。

新型コロナウイルスの流行で、今年は県内の多くの学校で文化祭が中止を余儀なくされた。代わってお目見えしたのが、オンラインによる発表会。事前に各クラスや部活動ごとに出し物を動画撮影し、各教室で鑑賞する。スクリーンやタブレット端末越しの文化祭、果たして盛り上がった？

■ 県銚子高 爆笑・感嘆「これも最高」

銚子市の県立銚子高は例年6月、金・土曜の2日間で文化祭「県銚祭」を開いてきた。美術部や書道部などの文化部は日ごらの成果を披露し、各クラスや生徒有志もお化け屋敷や模擬店、バンド演奏などで楽しませた。2日目は地域の人も開放した。

コロナによる休校が明けたのは6月1日。県銚祭実行委員会委員長の中村野乃佳さん(3年)らは「デジタル文化祭」を提案し、学校側も承諾。とはいえ、中村さんは心配だった。動画をうまく作れるだろうか。つまらなかったら……。

動画撮影の手段は、どのクラス・部もほぼスマートフォン。練習や撮影は夏休みを中心に、各10分以内の動画にまとめた。吹奏楽部はアニメ「鬼滅の刃」のテーマ曲「紅蓮華」など3曲を選んだ。出場予定のコンクールが中止になり、発表の場を得た部員たちは喜んだが、「聴いている人の表情が見えないので」と部長の永岡弦さん(2年)はやや困惑気味。

書道部は、床に広げた紙に大書するパフォーマンスを撮影した。Superflyの曲「Beautiful」から抜き出した歌詞を6人で書き、中央に大きく「響」と記した。部長の篠本莉子さん(2年)は「前向きな曲なので、みんなに響くようにと願いを込めました」。

9月11日、スクリーンとパソコン、スピーカーを持ち込んだ各教室で上映した。恋愛コメディ、ホラー、音楽デュオ、手品、ただ踊ってみた……。早川昌二校長も冒頭、安倍晋三・前首相の動画をまね、ティーカップを手にソファでくつろぐ姿で登場した。各教室では、大きな拍手や笑い声があふれた。女装した男子生徒のラブコメに手をたたいて爆笑し、伸びやかな歌声には「おっ」と感嘆の声が上がった。

計22本の動画は、どれも「作品」として成立していた。「編集まで全部スマホでできちゃうんですよ」と実行委を手伝った生徒会長の宮内凜花さん(3年)。中村さんは「人との触れ合いはなかったけれど、『あの時は特別だったんだ』って思い出せる動画が残った。これはこれで最高です」と話した。

■ 麗沢中・高 「画面通して表現、技術も向上した」

柏市の麗沢中学・高校では今月11、12日、中学生がオンライン形式と会場での発表を同時に行う「ハイブリッド型」の文化祭を開催した。例年通り、生徒がテーマを決めて教室で発表する形式でも実施しているが、今年はタブレット端末に動画を投稿する方式を追加した。

教室では隣に座らないなどの3密対策をした上で、自然などをテーマに生徒がスクリーンを使って発表。オンラインでは、生徒がバレーを踊ったり、ウェブ会議システム「Zoom」の複数の画面を使い、別々の楽器演奏を同時に披露したりした。

保護者や卒業生、受験希望者が参加できる例年と違い、今年は教職員と生徒のみの参加だ。新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止の選択肢も検討された中、コロナ禍のオンライン経験を前向きにとらえた内容で開催することになったという。中学2年生を担当する秋元誠道・学年部長は「生徒が画面を通して自分を表現し、編集技術も向上してよかった。観客の反応を見ることができないのがやりづらかったようだが、こういう(コロナ禍の)状況だから新しい企画が立ち上がった」と話していた。

(後略)

(『朝日新聞 2020年9月24日』より)

問 本文に書かれているような、動画やウェブ会議システムなどを使ったオンラインの文化祭イベントがあなたの在学期でも行われるとしたら、自分のクラスやクラブ、あるいは個人や有志のグループなどで、どんな企画をやってみたいですか。それを選んだ理由を明確にし、また実施に際しての問題点やその解決法なども検討しながら、具体的に説明してください。(六〇〇〜八〇〇字・六〇分 題名などは書かずに一行目から本文を書くこと)